



CIVIL ENGINEERING DESIGN PRIZE



Riverside Reconstruction Project at Natori-Yuriage

名取市閑上地区における 名取川・復興かわまちづくり

【宮城県名取市閑上中央 1 丁目】

用途 / かわまちづくり(河川堤防側帯などを利用したまちづくり)

閑上地区は東日本大震災による被災地であるため、「震災復興区画整理事業」および「名取川改修事業」が進められた。名取川改修事業を進めるに当たり区画整理事業による川沿いのまちづくりにあわせ、一部区間で「かわまちづくり事業」を導入することとした。

復興計画では県道10号沿いに商業地区を形成することとしていた。過去の商業地は名取川沿いにあったことから、一部商業者は川沿いに設けることを希望した。名取市は国土交通省のかわまちづくり事業を導入し往時の商業地を復活させることとした。かわまちづくり事業と連動させ住宅地の一部に商業利用の区域を設けるよう道路と駐車場の配置を見直した。

第1期整備は、2015年から2019年の5年間で進められた。2015年から2017年かけて、まちと一体となった「かわまちづくり事業」の内容を検討した。そして地元の商業者を中心に2017年9月に「株式会社かわまちてらす閑上」が設立された。経済産業省の「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金」を導入し、側帯にシンプルな木造で、閑上大橋上流の「あんどん松」にならった灯台を象徴する天窓を持ち、色は海とも陸とも喧嘩しない海松藍(みるあい)の商業施設が誕生した。2019年5月に「かわまちてらす閑上」が開業する。

第2期整備は、2019年3月～2021年11月の3年間で進められた。名取市および事業者の方々具体的な内容を検討し、株式会社かわまちてらす閑上の地先の河川敷と水面を利用した船乗場・サップの発着地・バーベキュー広場などの整備を行った。また閑上地区全体は、津波背水堤防として高上げが必要であったため、旧堤防をそのまま活用して震災前の閑上を想起できる装置とし、「時間の蓄積」がわかる堤防のデザインを行った。



商業施設は、堤防側帯を利用している。街と商業施設と川辺をつなぐ動線として、全体の空間スケールに見合った大階段を整備した。親水広場は地先の河川敷を利用し、サップで利用する階段護岸、子供たちが楽しめる親水河岸、バーベキュー広場などを整備した。(撮影:国土交通省 東北地方整備局 仙台海川国道事務所)

主な関係組織

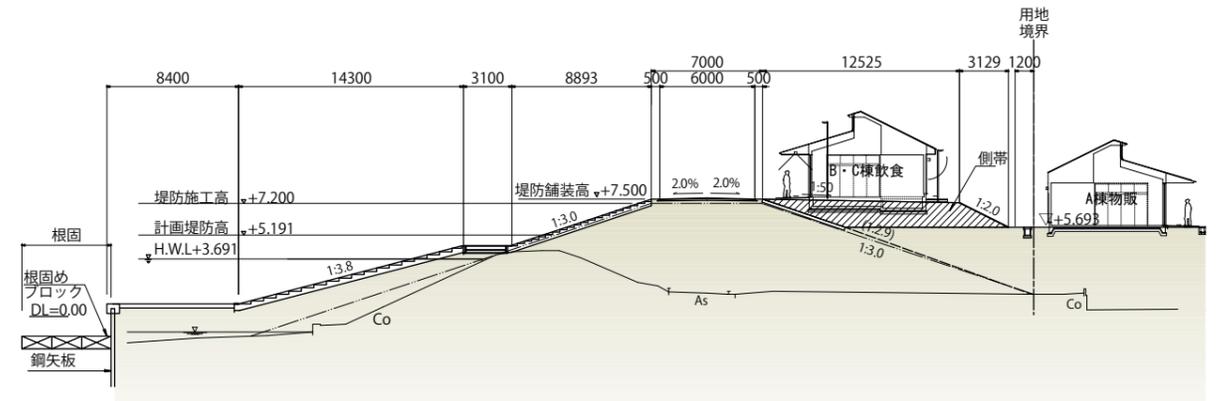
○閑上地区かわまちづくり検討会/デザイン方針やコンセプトの決定、かわまちづくり事業のデザイン調整・助言等
 ○名取市(震災復興部、生活経済部)/かわまちづくり事業におけるデザイン方針決定と検討体制づくりを含む事業実施のためのプロジェクトマネジメント
 ○国土交通省 東北地方整備局 仙台海川国道事務所/かわまちづくり事業におけるデザイン方針決定と検討体制づくりを含む事業実施のためのプロジェクトマネジメント
 ○株式会社東京建設コンサルタント/デザイン方針やコンセプトに基づく堤防・側帯・階段等および河川敷等の計画・設計
 ○株式会社針生承一建築研究所/「かわまちてらす閑上」の建築計画・設計
 ○株式会社かわまちてらす閑上/かわまちづくり事業におけるデザイン方針決定と実現のための決断及びマネジメント
 ○S.Natori base(エス ナトリベース)/かわまちづくり事業(サップ事業)におけるデザイン方針決定と実現のための決断及びマネジメント
 ○マリメカニック/かわまちづくり事業(遊覧船事業)におけるデザイン方針決定と実現のための決断及びマネジメント
 ○名取市観光物産協会/かわまちづくり事業の観光面の情報発信及びマネジメント
 ○ミスベリングゆりあげ/住民・事業者・行政が一体となったかわまちづくり事業のマネジメント

主な関係者(所属は当時)

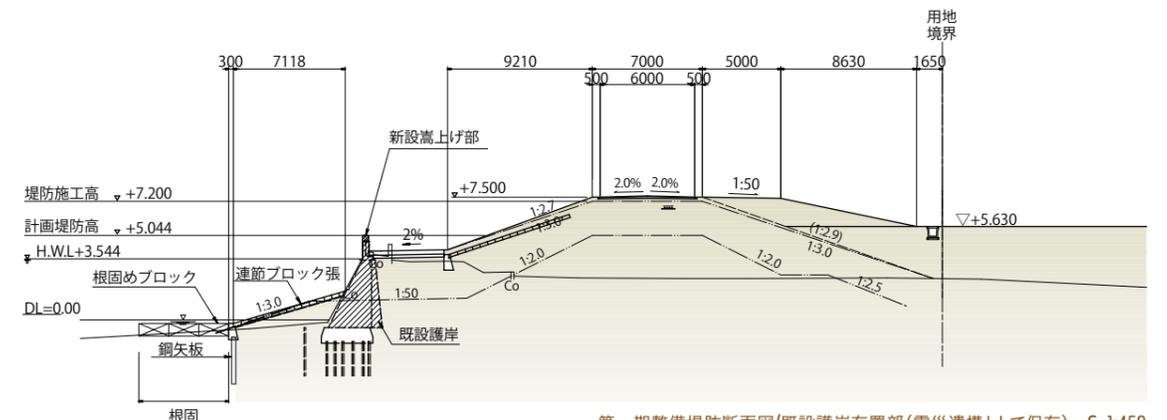
平野 勝也(東北大学)/かわまちづくりの当初計画・変更計画および活用・維持管理の検討に至るまで「かわまち」が一体となった風景とするためのアイデア・デザインを提案
 岡井 春樹(株式会社東京建設コンサルタント)/かわまちづくりの当初計画において「かわとまち」が一体となった風景とするためのアイデア・デザインを提案
 檀上 裕司(株式会社東京建設コンサルタント)/かわまちづくりの当初計画・変更計画および活用・維持管理の検討に至るまで「かわとまち」が一体となった風景とするためのアイデア・デザインを提案
 増田 由紀(株式会社東京建設コンサルタント)/かわまちづくりの当初計画・変更計画および活用・維持管理の検討に至るまで「かわとまち」が一体となった風景とするためのアイデア・デザインを提案
 井上 大介(株式会社東京建設コンサルタント)/かわまちづくりの当初計画において「かわとまち」が一体となった風景とするためのアイデア・デザインを提案
 大和田 勝文(株式会社東京建設コンサルタント)/かわまちづくりの当初計画において「かわとまち」が一体となった風景とするためのアイデア・デザインを提案
 宮下 幸彦(株式会社東京建設コンサルタント)/かわまちづくりの当初計画・変更計画および活用・維持管理の検討に至るまで「かわとまち」が一体となった風景とするためのアイデア・デザインを提案
 金山 美月(株式会社東京建設コンサルタント)/かわまちづくりの変更計画および活用・維持管理の検討において「かわとまち」が一体となった風景とするためのアイデア・デザインを提案
 兼子 和彦(株式会社東京建設コンサルタント)/かわまちづくりの当初計画・変更計画および活用・維持管理の検討に至るまで「かわとまち」が一体となった風景とするためのアイデア・デザインを提案
 針生 承一(株式会社針生承一建築研究所)/堤防側帯の特徴を生かした「かわまちてらす閑上」の建築計画・設計を提案
 柳澤 陽子(株式会社針生承一建築研究所)/堤防側帯の特徴を生かした「かわまちてらす閑上」の建築計画・設計を提案
 日詰 博文(株式会社針生承一建築研究所)/堤防側帯の特徴を生かした「かわまちてらす閑上」の建築計画・設計を提案
 小畑 和弥(名取市 震災復興部)/かわまちづくりの当初計画・変更計画および活用・維持管理の検討を推進、デザイン実現のため堤外地の計画変更・設計変更を検討
 草野 学(名取市 震災復興部)/かわまちづくりの当初計画の検討を推進、デザイン実現のため堤外地の計画変更・設計変更を検討
 佐藤 拓人(名取市 震災復興部)/かわまちづくりの変更計画および活用・維持管理の検討を推進、デザイン実現のため堤外地の計画変更・設計変更を検討
 大宮 正(名取市 生活経済部)/かわまちづくりの変更計画および活用・維持管理の検討を推進、デザイン実現のため堤外地の計画変更・設計変更を検討
 平館 淳一(仙台海川国道事務所)/かわまちづくりの当初計画を推進、デザイン実現のため計画変更・設計変更を検討
 倉本 洋平(仙台海川国道事務所)/かわまちづくりの当初計画を推進、デザイン実現のため計画変更・設計変更を検討
 片野 美紀(仙台海川国道事務所)/かわまちづくりの当初計画を推進、デザイン実現のため計画変更・設計変更を検討
 小田 綱聡(仙台海川国道事務所)/かわまちづくりの変更計画および活用・維持管理の検討を推進、デザイン実現のため計画変更・設計変更を検討
 宇佐美 淳(仙台海川国道事務所)/かわまちづくりの変更計画および活用・維持管理の検討を推進、デザイン実現のため計画変更・設計変更を検討
 櫻井 広行(株式会社かわまちてらす閑上)/「かわまちてらす閑上」の建築デザインを実現するため、事業者および行政機関との調整を実施
 佐藤 智明(株式会社かわまちてらす閑上)/「かわまちてらす閑上」の建築デザインを実現するため、事業者および行政機関との調整を実施
 松野 水緒(株式会社かわまちてらす閑上)/「かわまちてらす閑上」の建築デザインを実現するため、事業者および行政機関との調整を実施



1. 堤防天端はイベント空間として利用される。写真は「なとり夏祭り(花火大会)」の様子である。川風を楽しみながら花火を見たり食事をしたり、思い思いに楽しむ観覧席となる。
 2. 整備前は、一面にヤナギ類やヨシ類などが繁茂しており、人が入り込むことは困難であった。
 3. 親水広場の全景。水辺沿いに遊歩道を設け誰でも近づける。右側にはコンクリートの小広場を設け、イベント時に事務所や舞台として活用。芝生広場はバーベキューで利用。
 4. 大階段は、遊覧船へのアプローチ、名取川の水辺を眺めながら飲食を楽しむ場所、コンサートなどのイベントの会場として利用される。
 5. かまちでらす閣上の街側部分。物販施設が多く並び、買い物客の姿でにぎわう。イベント時にはテントを出して地域の農産物などを販売する。(写真1~5 撮影:株式会社東京建設コンサルタント)



第一期整備堤防断面図/商業空間展開部 S=1:450 (作成:株式会社東京建設コンサルタント、株式会社針生承一建築研究所)



第一期整備堤防断面図/既設護岸存置部(震災遺構として保存) S=1:450 (作成:株式会社東京建設コンサルタント、株式会社針生承一建築研究所)



BEFORE



AFTER



4



5

選考委員講評

地区の歴史や商業者の発意により、川沿いの商業地とすべくゾーニングを変更し、新設堤防上に民間商業施設を建て、川とまちが一体となる稀有な空間が実現した。建物を2つに分節し異なるレベルのまちと川の両方に店の顔を向けている。大階段で川の下までアクセスでき、汽水域の干潟や子どもが安心して水遊びのできる場所、BBQ場、遊覧船が乗降できる船着場がある。陸側の目の前には水上アクティビティのお店が開業し、今年には全日本 SUPレース選手権を誘致した。涼

しくなると海までの川沿いには釣り人が増えてくる。

区画整理事業と河川事業を融合し、出店者が出資した(株)かまちでらす閣上が店舗を建設するだけでも相当なハードルだが、まち～堤防・建物～川が官民や事業区分を超えて一体的なデザインや活用がなされ、他にはない圧倒的な水辺の景色・生態系を楽しめる場所ができたことは、まさにまちぐるみの創造的復興の象徴である。(泉)

設計期間

2014年3月～2022年3月

施工期間

2014年3月～2023年3月

竣工年月日

2023年3月31日

事業費

- 河川堤防整備事業: 約6.62億円
- 用地費・堤防等河川管理施設整備費を含む全体事業費
- かまちでらす閣上関連整備事業: 約0.9億円
- 公園整備・街路整備・駐車場整備等
- かまちでらす閣上商業施設建設事業: 約3.6億円

事業概要

延長: 堤防等かまちづくり整備 L=約2.4km

立地環境: 河川空間

主要事業:

名取川河口部復旧・復興事業による堤防整備および名取川かまちづくり事業による親水施設整備

堤防側帯部の公園整備および商業施設(かまちでらす閣上)整備

事業者

堤防事業・かまちづくり事業: 東北地方整備局 仙台海川国道事務所
公園整備事業: 名取市

商業施設整備事業: かまちでらす閣上

設計者

堤防事業・かまちづくり事業: 株式会社東京建設コンサルタント
公園整備事業: 西松建設・鴻池組・佐藤工業・グリーン企画建設・バシフィックコンサルタンツ・オオバ共同企業体
商業施設整備事業: 株式会社針生承一建築研究所

施工者

堤防事業・かまちづくり事業: 千田建設株式会社
公園整備事業: 西松建設・鴻池組・佐藤工業・グリーン企画建設・バシフィックコンサルタンツ・オオバ共同企業体
商業施設整備事業: 株式会社阿部和工務店